

鳴立庵だより

鳴立庵とは、江戸時代から続く俳諧道場でいづる。
初代庵主大淀三千風が開き、現在では京都の落柿舎、滋賀の無名庵と並び日本三大俳諧道場と呼ばれているといわれるよ。



鳴立庵大使「えんいくん」

今月の俳句

重ね着の

ひよこのような子どもたち

埼玉県星野高等学校

鈴木 実結

季節は「重ね着」。冬になつてのあまりの寒さに、つかつかと重ね着をしてしまふ。見た目の体型まで変わることもあり、「着膨れ」というのも、冬の季節となつてゐる。そんな冬の寒さの中で幼稚園生ぐらいの子供を見かけたのであろう。まるで「ひよこ」のような感じに見えたというのである。大人の「着膨れ」とことなり、背丈が低い分だけ、ポワポワの「ひよこ」のようにみえたのであろう。昔、「ひよこのかくれんぼ」という童謡が流行ったことがあつた。

(鳴立庵庵主 本井 英)

今月の短歌

飲み干してスンと冷えてく空き缶に
言われた気がした「フィクションですよ」

茨城県立下館第一高等学校

菅 初奈

缶コーヒーでしょうか。手で持てないほど熱々だったのに、飲み終えた途端、嘘のように冷たくなつてしまふ。その感覚に、夢から覚めて我に返るあの感じを重ねました。この世のすべてがフィクションみたいに感じてきますね。
惜しいのは初句。飲み干せるなら缶はまあまあ冷えていたのでは、という気がします。
でも「スン」という擬音が効いていますし、「フィクションですよ」も気が利いている。短い映画を観た後のような、余韻のある歌でした。

(西行祭選者 今井 恵子)

「めいど いん おおいそ」 登録産品紹介

大磯らしい潤いづくり協議会 (大磯町商工会)
☎ (61) 0871



【おおいそ地域振興(株)】
問合せ先：☎ (61) 0871



大磯高麗山キムチ

ハロウィンジャンボ4億円
(1等2億円・前後賞各1億円合わせて)

ハロウィンジャンボミニ4千万円
(1等2千万円・前後賞各1千万円合わせて)

この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

各1枚 300円

9月16日(水) 2種類同時発売!

発売期間 9/16(水)~10/16(金)

公益財団法人神奈川県市町村振興協会

